



岩江中だより

第 31 号

発行日：平成29年 2月10日
発行：三春町立岩江中学校
電話：0247-62-8290
FAX：0247-62-8380
E-mail: iwae-j@fcs.ed.jp

学校経営基本方針『こころ豊かに、たくましく』～「共に」語り合い、分かち合い、成長する学校～

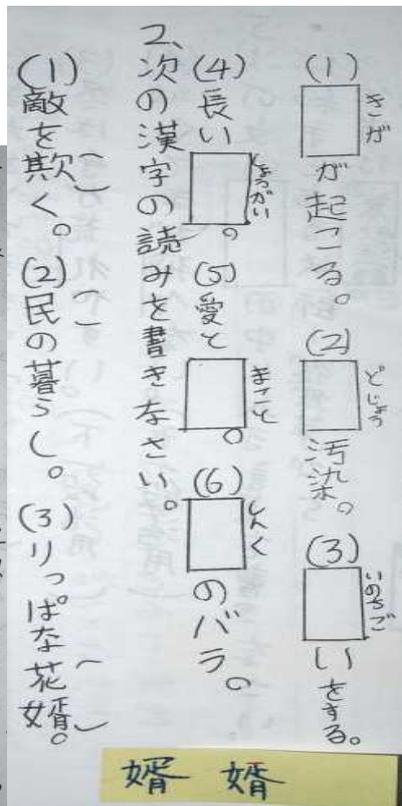
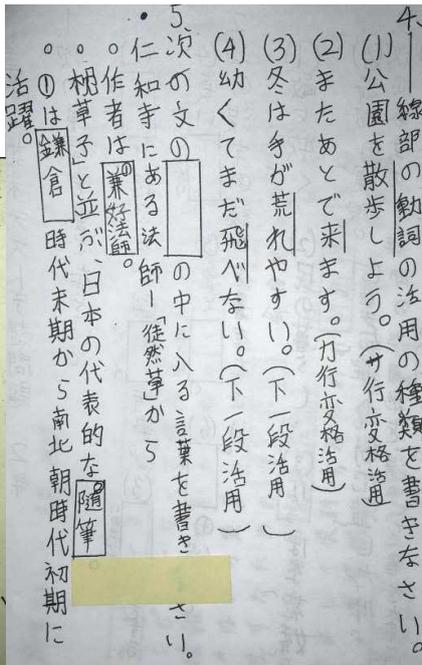
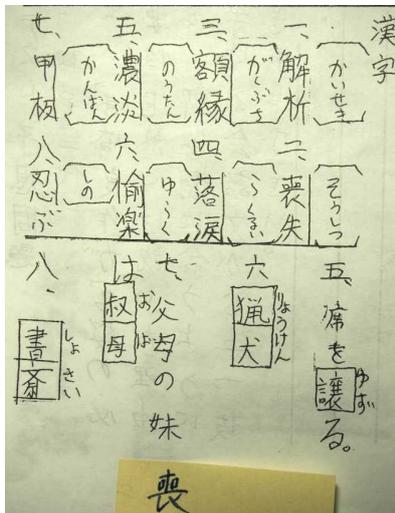
【生徒も先生も「共に」伸びる！ ～学習委員会定期テスト予想問題作成～】

学力においても「自立」した集団として、仲間と共に、先生と共に学力を伸ばすという集団生活の向上をめざして、生徒会では委員会活動にも取り組んでいます。

定期テスト前、生徒会の学習委員会の生徒のみなさんは、下記のような定期テストの予想問題を作成し、できあがったものは教科担任の先生に指導してもらいながら、生徒全員に配付し、定期テストの学習の拠り所の一つとしてもらおうと活動に取り組んでいます。ワークブックや先生からの配付プリントを活用して作成する定期テストの予想問題は本物のテストのようです。

もちろん、子どもたちの活動だからといっても、生徒全員に配付されるわけですから、教科担任の先生方も自らの指導の再確認の絶好の機会と考え、チェックは怠りません。下の問題の下方に付箋が貼られていますが、正しく漢字を覚えてほしいためのお知らせの付箋です。

生徒自らが主体的に学力向上に取り組み、その輪を広げる。一方で、先生方はその主体的な取り組みを認め、励ましつつ、自らの教科指導再確認の場とする。生徒も伸び、先生も伸びる。岩江中学校の「共に」を一つ紹介いたしました。



【「繰り返しと積み重ね」！～人間関係づくりでも繰り返し学び、積み重ねています。～】

現代を生きる子どもたちの大きな課題の一つ、そして、企業が求める人材の一つの条件である「人間関係形成能力」。少子化、核家族化、コミュニティーの希薄化など、現在の社会が抱える課題は、学校の中においても対応し、取り組み、育んでいかなければならない大切な力です。

特に、岩江地区は、ご存知のとおり、1幼稚園、1小学校、1中学校と、ほぼ同じメンバーで、人間関係が固定化したり、他に協調しながら生活したりする機会が少ないという傾向があります。

そんな中、新聞やテレビでは、「いじめを苦に…」という報道を見たり聞いたりすることがあります。人間関係を円滑にする力や限られた目の前の世界のみを目を奪われることのない想像力などを身につけるためには、やはり、「繰り返しと積み重ね」のところがけのもと、人間関係のあるべき姿について学ぶ機会が必要になります。

「いじめ・仲間はずれ根絶全校集会」は、これまで2回実施し、そこに至るまでの各学級や学

年での取り組みが懸命になされ、3月に行われる「岩江中学校命を見つめる日」には、2回目の子どもたちの取り組みの成果発表会が行われます。

子どもたちと学級・学年担当の先生方が「共に」、自らの所属する集団の現状を見つめ、そのよさを伸ばし、課題解決に取り組むこと、人間関係のあるべき姿について学ぶことは、この子どもたちが社会に出たときに必ず生きて働く力となるものと確信いたします。

【「本気」は言動にでます！～どの授業も、先生方も、前のめりになってきています。～】

「本気」な時どんな言動をとるか。それぞれのご経験がとおりと存じますが、学校でもその「本気」の姿が多く見られるようになってきました。

3年生は、私立高校の受験、県立Ⅰ期の選抜等を終え、それぞれの立場で現在生活しています。私立校や県立Ⅰ期に合格・内定した人は、喜びもひとしおで、希望をいだいて岩江中学校での学びや生活の仕上げをしようと生活しているところですが、これから試験のある県立Ⅱ期などの人たちにとっては、「必死」になって、「本気」になって学習に取り組み、それこそ、「1点をひねり出す」ためにがんばっています。がんばらなくてはなりません。合格・内定の人たちはその「必死」・「本気」でがんばらなくてはならない仲間のために、学びの雰囲気づくりやさまざまな配慮もしてくれています。

一方、1・2年生はといえば、先日、新入生学校説明会が終了し、もうすぐ「先輩」と呼ばれる立場になります。信頼される「先輩」になるためには、「言行一致」で、自らの背中で、言動で、後輩にお手本を示すことができるようになってほしい、そのための練習をまずは修学旅行にむけた取り組みや日々の毎時間毎時間の授業において取り組んでいます。

校舎内をまわり、授業を一つ一つ見ていくと、「前のめり」になっている姿が多く見られます。自分のため、仲間のため、全ての生徒のみなさんが、主体的・自主的に学習・授業に取り組めるよう学校では引き続き働きかけてまいります。

何とか先生の言葉が聞こえてきます。いつ「本気」に、「必死」になるんですか。「今でしょ。」ちょっと古いですか。



【当たり前のことが当たり前ができる学校！

～表彰もよし。目立たぬスリッパもよし。～】

一つ一つの活動に心を込めること、自分のため人のために心を配ること、自分の活動に誇りと責任をもつこと、あきらめずに続けること、簡単であり、とても難しいことでもあります。

先日、「十七字のふれあい」の盾が届きました。努力と協力の結果です。佐久間君、重ねておめでとう。今日のトイレのスリッパ、少し乱れながらも、「そろえる」という意識が出てきています。

また、がんばろう。

